

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月26日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12330
政策名 (章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当課	保健福祉部 ▼
基本施策名 (節名)	第3節 市民医療の充実		地域医療課
施策名	災害時医療の充実	課長名	近藤 敏男

1 施策の概要・目的

相模原市地域防災計画に基づき、災害の程度に即した医療救護活動の円滑な対応を図るため、救護班派遣体制、医薬品等の備蓄・供給体制の整備、後方医療機関の指定等を行うことにより、市民の安全を図ることを守ることを目的とする。

2 施策の現状

大規模地震等の災害に備えて、医療救護班・救護所の体制整備を行うほか、救護所等への備蓄薬品の整備、更新等を実施。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

14,523 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

24 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 110 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.20 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	救護所等医薬品の配置率 医薬品配置済箇所/医薬品配置予定箇所×100	配置実績によりその成果を表す	現状	0 50 100	14	目標年度
			目標	100%	達成度	14
指標2			現状	0 50 100	%	目標年度
			目標		達成度	%
指標3			現状	0 50 100	%	目標年度
			目標		達成度	%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

災害時における医療救護活動の円滑化を図るものであるため、必要性は充分にある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

市地域防災計画・市災害時医療救護計画を推進していく上では必須な事業であると考えている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

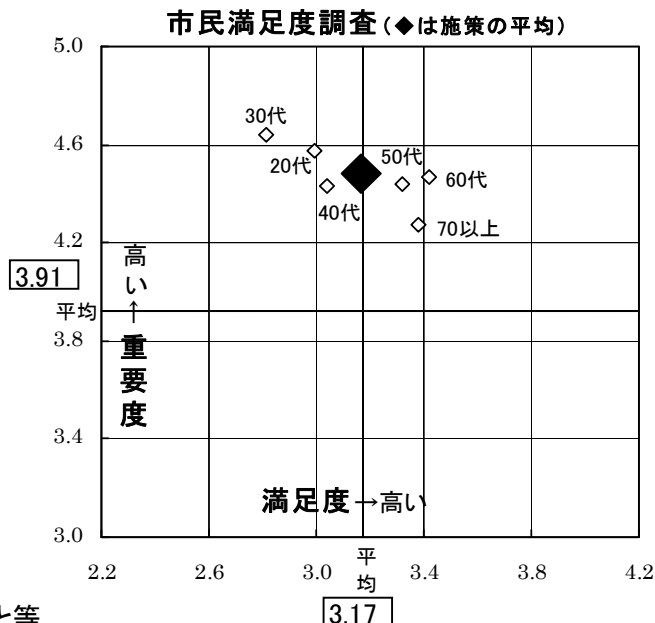
事業の性格上、費用対効果をはかることは難しいが、市民の生命を守るためのもので、市民サービスの観点から効率性は充分あると考える。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.166で、調査した51施策の中で25番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.481で、調査した51施策の中で1番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.930で、調査した51施策の中で5番目です。

◇年齢別にみると、満足度では50歳代以上で高く、重要度では20歳代及び30歳代で高くなっています。比較的若い年代で改善要望が高い傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

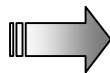


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

災害時における備蓄医薬品等は必須なものであるが、高価であり、更には品質保持期限も定められているものであることから、計画的な更新が必要である。また、被災状況によっては、医薬品等の不足が予想されるため、供給体制の整備が課題である。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

市の防災計画に位置付けられているものである。直接市民に影響があることであり、生命・財産を守るためには、充実させる必要がある。

11 2次評価

<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

説明

災害時における医療の重要性を踏まえ、医療機関との連携を強化するなど、市民の安全確保対策の充実を図ること。

12 外部意見

説明

市民満足度調査における重要度及び改善要望度が高いことから、市民の安全確保に向け施策を充実すべきである。

施策名 災害時医療の充実

施策コード 12330

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								今後の進め方	施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		
災害時医療救護体制整備事業	地域医療課	14	14,523	0.20	B	B	A	B	B	B	A	/	継続	1

合計 1 事務事業

14,523 0.2 千円 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性